

# 獨協医大

# 心臓・血管外科ニュース



No. 7

## 心臓・血管外科学講座 開講のご挨拶 (福田 宏嗣)

この度、4月1日付けで胸部外科学講座から心臓・血管外科学と呼吸器外科学の2講座が独立し私が心臓・血管外科学の教授を拝命いたしました。浅学菲才の身ではありますがご期待に添えるよう粉骨砕身、努力する所存ですので今後とも従前にも増してご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大学病院の使命は診療、教育、研究ですが診療面に関して、現状と今後の抱負についてこの紙面をお借りしてご紹介させていただきます。

### ・「心臓・血管外科」の診療科名

新規開講に伴い大学病院での診療科名を「心臓・血管外科」にいたしました。従来心臓血管外科というと心臓・胸部大血管外科が主流であり腹部大動脈以下の末梢血管領域の外科はどちらかというと付録のような風潮がありました。私たちは「血管外科」も「心臓外科」と同様に2本柱として行っていくという意思表示を込めて「心臓・血管外科」といたしました。諸外国では「心臓外科」と「血管外科」は全く異なるspecialityであり標榜科はもちろん専門医制度も別々になっています。日本の心臓血管外科は歴史的背景から血管外科領域はその専門医集団の中でもやや軽視され、発展が遅れてきたのではないかと思います。そのため一般には血管外科医の仕事である領域が日本では循環器科や放射線科、脳神経外科など種々の科へ散逸してしまったのだと思います。しかしまだ少ないですが独立した「血管外科講座」を作る大学も出てきましたし、慈恵医大の大木教授のように血管外科の世界的なbig nameも出てこの領域の地位向上が図られている段階です。このような背景の中で私達も血管外科領域をもう一つの大きな柱と考えています。

診療範囲は以下の通りです。

- ・ 虚血性心疾患
  - 急性冠症候群、狭心症、心筋梗塞合併症
- ・ 心臓弁膜症
  - 大動脈弁、僧帽弁、三尖弁
- ・ 不整脈
  - 心房細動、心室性不整脈
- ・ 胸部・腹部大動脈瘤
  - 開胸、開腹手術、経皮的ステントグラフト内挿術
- ・ 末梢血管疾患（観血的手術、血管内治療）
  - 急性動脈閉塞症
  - 慢性動脈閉塞症
    - （閉塞性動脈硬化症、バージャー病など）
  - 末梢血管動脈瘤（腹部内臓動脈瘤、四肢動脈瘤）
  - 深部静脈血栓症
  - 下肢静脈瘤
  - リンパ浮腫
  - 透析患者のアクセス作成 など

ただ病院の機能的役割やマンパワーの問題などで、美容的な問題が主である軽症の下肢静脈瘤などは近隣の医療機関にお願いできればと考えています。

### ・日光医療センターでの「心臓・血管外科」開設

現在大学病院では手術枠の問題があります。心臓・血管外科の手術枠は週4枠、年末年始や祝日などを考慮すると190枠弱しかありません。その枠に昨年は211例の開心術と60例のAAAを含めた120例の血管外科症例がありほぼ飽和状態でした。他科でも同様の状況であり急性解離や動脈瘤破裂などの超緊急手術の受け入れも年間40例余りを断らざるを得ない状況で、連携医の先生方には大変ご迷惑をおかけして

います。これを解決するにはハード面での手術室の増設（現在14室）などが課題になろうかと考えていますが、一朝一夕に進むものでもありません。そこで分院である日光医療センターの意向も有り、「心臓・血管外科」を開設する予定で準備を進めています。2人のスタッフを置き6月1日開設、6月中旬に手術を開始したいと考えています。当面は腹部大動脈以下の末梢血管領域の手術を行いたいと考えており、大学病院では「心臓、胸部大血管手術」、日光医療センターでは「腹部大動脈以下の末梢血管外科」と役割分担する予定です。つまり、大学病院と日光医療センターの心臓・血管外科は独立したもの同士ではなく一体化した科であり、日光医療センターの手術室を借りて全体の手術枠を増加させる手段であると考えていただければと思います。

6月からは血管外科領域の手術は日光医療センターで行いますが、その領域の患者様のご紹介はわざわざ日光へ受診していただく必要はなく、患者様の利便性のよい近い方の病院を受診していただければと思います。

#### ・高度医療の提供、心臓・血管外科の啓

世界に通用する高度な心臓・血管外科サービスを

栃木県そして北関東エリアで提供することを目標にしたいと思えます。内容では大動脈瘤の血管内治療を始めとした低侵襲心臓・血管外科手術を推進、開発するとともに心臓弁形成術のように患者の術後QOLを増進する手術を目指します。

ある循環器専門雑誌に全国の人口に対する循環器専門医数、心臓血管外科専門医数が掲載されていましたが、栃木県の心臓血管外科専門医数が人口比で全国最低である数値が載っており衝撃を受けました。確かにいわゆる心臓手術（開心術）を行える施設は4施設しかなく、4施設とも超緊急手術の受け入れ不可で他県へ搬送せざるを得ない症例が少なからずあり、新聞等で報道される救急や産婦人科領域の医療難民は栃木県の心臓血管外科領域でも発生していることを肝に銘じなければいけません。その上で良質な心臓・血管外科専門医を教育、育成するとともに、また他の3施設と協力して高度で良質な心臓血管外科医療サービス体制を構築できるよう努力する所存です。

新しい教室、診療科作りが始まります。今後も連携医の皆様方には変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## 心臓リハビリテーションについて

(心臓リハビリテーション室 循環器内科医師 山口 すおみ)

「心臓リハビリテーション」。まだなじみの薄い言葉かもしれません。

心臓リハビリテーションとは、主に心臓疾患の方を対象に運動療法を行うことです。

心臓を患った方は今後どれくらい動いてよいのか、何の運動をするのがよいのかなど、不安を抱えていらっしゃる方が多くいらっしゃいます。

1950年に始まった「心臓リハビリテーション」。当初は心筋梗塞による長期臥床の回復を目的としていましたが、動脈硬化の形成過程や危険因子の解明などから虚血性心疾患の病態が明らかとなり、予防可能である事が解りました。その後、経皮的冠動脈形成術などの普及により治療が飛躍的に進歩し、さらに、運動生理学の発展から有酸素運動の有用性などが認識され、心疾患に対して積極的に運動療法を行うようになって来ました。本国でも2006年より保険適応となりますますます発展していく分野となっています。

対象となる疾患は、狭心症、心筋梗塞、開心術後（冠動脈バイパス術、弁置換術など）、心不全（左室駆出率40%以下、またはBNP80pg/ml以上）、大血管疾患（解離性大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、大血管術後閉塞性動脈硬化症）などです。

当院心臓リハビリテーション室は2006年12月に開設し、心臓系の外科・内科を問わず、入院されている患者様を対象に運動療法を行っています。現在までに約1600人の患者様の指導を行ってきました。

医師の指示のもと開始時はベッドサイドに専属の理学療法士が伺い、歩行訓練を経て、エルゴメーター（自転車）による運動療法を行っています。経過順調な開心術後の方では、術後翌日に集中治療室で上下肢の訓練を開始し、約2～3日目には歩行訓練、7日目頃より運動療法を行い退院前には30分程度エルゴメーターで有酸素運動訓練を行うまでになっています。

心肺運動負荷試験（CPX）では心電図・血圧・呼吸機能をモニタリングしながら有酸素運動量を測定し、運動負荷量や心拍数などを指標として患者様独自の運動療法メニューを作成し、復職や日常生活についてなど退院後の生活指導も行っています。

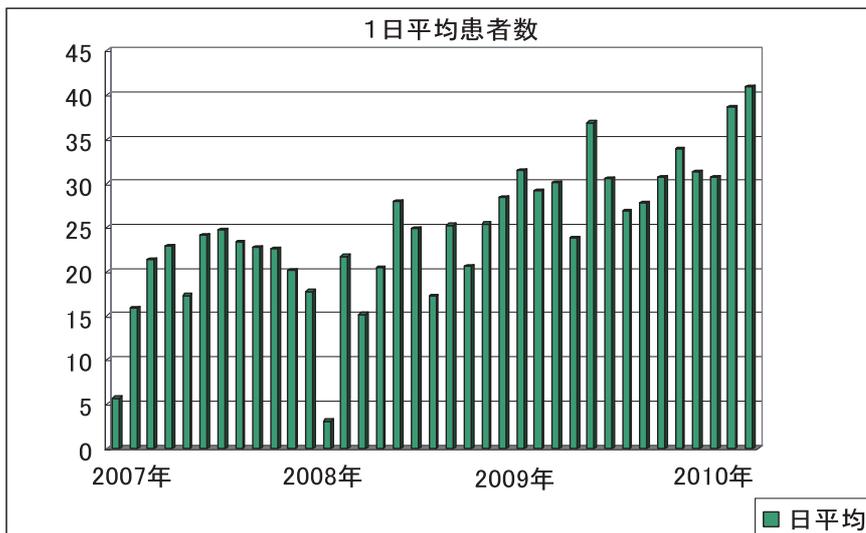
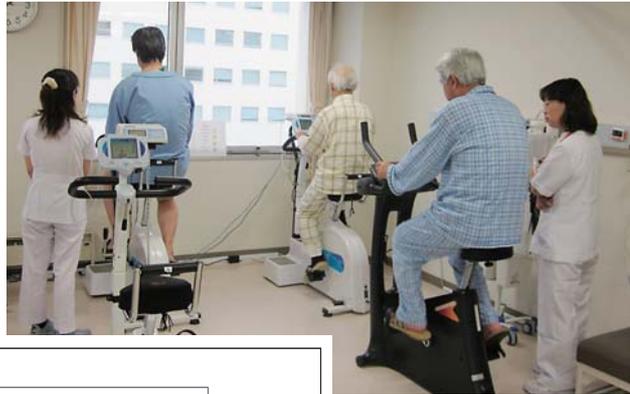
運動療法以外にも管理栄養士による減塩食栄養指導、医師による疾病教育、認定看護師によるフットケアなどの教室があり、単に病後の回復にのみ重点を置くのではなく、患者さん自身が疾患に対する理解を高め、再発予防に運動療法が必要である事を理

解していただくようにお話をしています。現在当院では入院患者様のみが対象ですが、近い将来は外来心臓リハビリテーションを行っていく方針です。

現在、心臓リハビリテーションは病後の回復から予防医学へと考え方がシフトしています。医師のみではなく、理学療法士、看護師、栄養士など多方面の業種が患者様の指導に当たることにより、ただ疾患を治療するだけでは終わらず、患者様のニーズに合った治療が出来る分野になると考えています。

再発を防ぐ、それは「元気で長生き」をするということです。

心臓リハビリテーションを受けてくださった患者様が安心して生活できるように、スタッフ一同取り組んでまいります。



**獨協医科大学病院 心臓・血管外科からのお知らせ**

**1. 各種問い合わせおよび相談**

連携医の先生方からの循環器疾患に関するお問い合わせ、患者さんの診察依頼、入院依頼などは下記にご連絡下さい。夜間、休日は胸部外科 当直医または宅直医が担当させていただきます。

**Tel : 0282-86-1111 (内線 2640)**

**Fax : 0282-86-6390**

**E-mail : cvs@dokkyomed.ac.jp**

**2. 心臓・血管外科 外来担当表**

	月	火	水	木	金	土
午前	井上	山田	福田 吉龍 栞田	堀	柴崎	交替制
午後	井上	山田	福田 吉龍 栞田	堀	柴崎	

緊急の場合は上記以外でも診察させていただきます。

**心臓・血管外科外来へ直接電話してお問い合わせ下さい。**

**心臓・血管外科外来 : 0282-87-2206**

今後とも先生方との連絡を密にしながら診療に取り組む所存ですのでよろしくお願いいたします。

**3. スタッフ紹介**

福田 宏嗣 教授(診療科長)  
吉龍 正雄 講師(外来医長)  
山田 靖之 講師(医局長)  
柴崎 郁子 講師(病棟医長)

井上 有方 助教  
栞田 俊之 助教  
堀 貴行 助教

小川 博永 レジデント  
清水 理葉 レジデント  
永瀬 秋彦 初期研修医

学外出向  
土屋 豪 レジデント  
武井 祐介 レジデント